

- ⚠ 注意**

⚠ 注意

⚠ 注意

⚠ 注意

お問い合わせ、ご用命は……

警告

⚠ 注意

 **警告**

警告

 警告

警告

⚠ 注意

● 取扱上の注意 ●

 警告

警告

警告

警告

警告

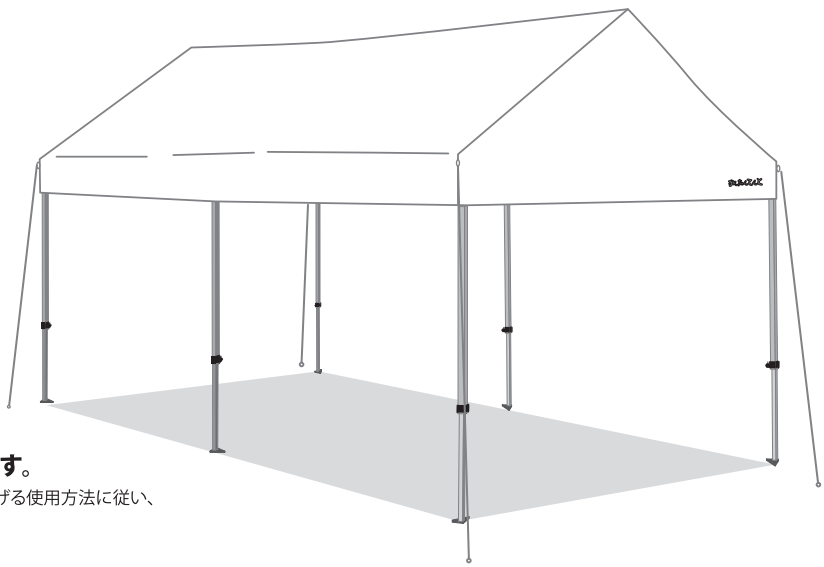
警告

警告

⚠ 注意

⚠ 注意

⑨テントは、たるみがなくピンと張った状態で使用し、天幕に水が溜まらないよう十分に注意してください。天幕に水が溜まりますと、天幕の寿命を縮める他、フレームが曲がったり、倒壊の危険があります。



テントの組立て方法

※写真は「KG/8W」を例に説明しています。テントの大きさや形状に違いはありますが、他の規格品も組立て手順は同じです。なお各部の名称は裏面「各部の名称」を参照してください。

1



四隅のアウトターレグを持ち、少し浮かせながら左右に広げます。

アウトターレグ

注意 フレームが引っ掛かっている場合がございますので、無理に広げないで下さい。

2



トラスバー下側のV字部分を持ち上げながら、外側に引っ張り、本体フレームを半ばまで広げます。

ピークポール
ピークストップ
トラスバー

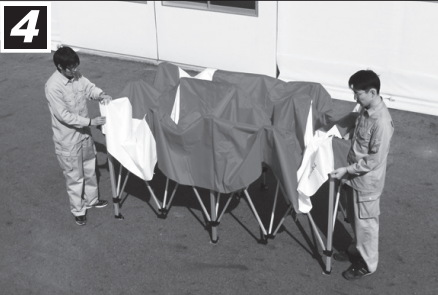
注意 ピークポールがピークストップから抜けると、フレームは開きません。差し込まれているのを確認して下さい。

3



天幕を袋から出し、本体フレームにかぶせます。

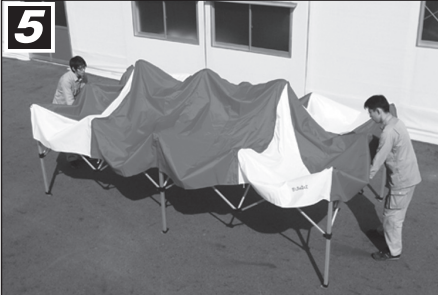
4



天幕と四隅のアウトターレグのマジックテープを合わせます。

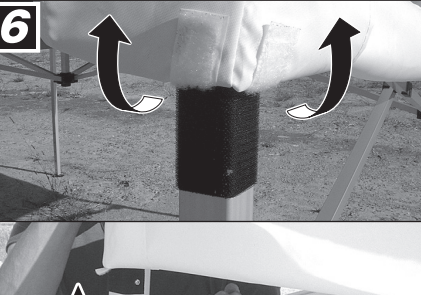
裏面:マジックテープ

5



トラスバー下側のV字部分を持ち上げながら、さらに外側へ引っ張り、本体フレームを最大まで広げます。

6



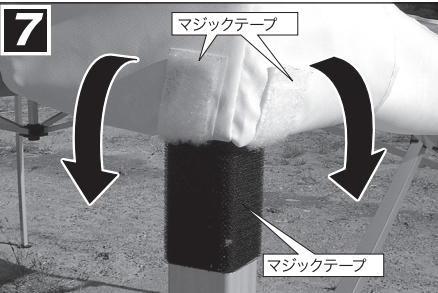
四隅の天幕を少しめくり上げます。アウトターレグにあるすべてのスライダー (J2P 及び J3P) を、「パチン」と音がするまで押し上げます。

スライダーJ2P

※ロックがかりにくい場合は天幕の角を一度外してから押し上げてください。

注意 手や指をはさまないようご注意ください。

7



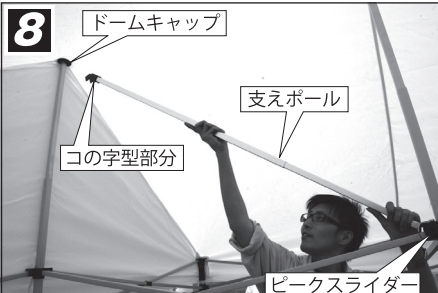
マジックテープ

マジックテープ

6 でめくり上げた天幕を戻し、天幕とアウトターレグのマジックテープを固定させます。なお中央2本のアウトターレグは下右の写真のようにマジックテープを巻き付けて固定します。

注意 天幕の四隅はしっかりと最後まで被せて下さい。天幕のたるみの原因となり、天幕の劣化を早めます。

8



ドームキャップ
コ字型部分
支えポール
ピークスライダー

支えポールを取付ます。中央 2 本のピークスライダーに乗せる様に当て、斜めの形でD型金具で固定します。支えポールを伸ばし、上部コ字型部分をドームキャップ下部に押し当てさえる様に、パチンと音がなるまで伸ばします。逆も同じ手順で取付ます。

D型金具
ドームキャップ
コ字型部分
ピークスライダー

9



ベース部 (パッド)
写真 1 ロックレバー
写真 2 高さ調整レバー

ベース部 (パッド) を足で踏みながら、両端のアウトターレグのロックアジャスターJ」に付属している「ロックレバー」が解除になっている事を確認した上で(写真1)、「高さ調整レバー」を押し込みながら(写真2)、アウトターレグを伸ばします。

注意 必ず一辺に並んだアウトターレグを同時に持ち上げてください。

注意 ロックレバーのON-OFFの表示範囲を超えて、回すと破損する恐れがございますので、ご注意ください。

10

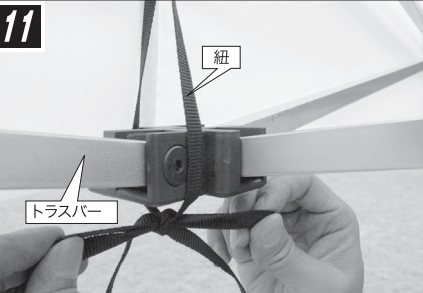


反対側のアウトターレグも同様に伸ばします。同じく中央のアウトターレグも伸ばします。

なお、テントの高さは、ロックアジャスターJ」の高さ調整レバーを押しながらアウトターレグを持ち上げ、伸ばすことで、3～5段階のお好みの高さに調整することができます。

注意 脚はすべて同じ長さ(水平)に揃えてください。

11

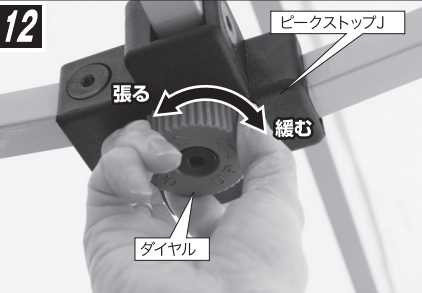


紐
トラスバー

天幕の裏側についているすべての紐をトラスバーに結びつけます。

注意 縫製品の為、針穴が見える事がございます。又、縫製部分より水が入る事がございますのでご了承下さい。

12



ピークストップ
張る
緩む
ダイヤル

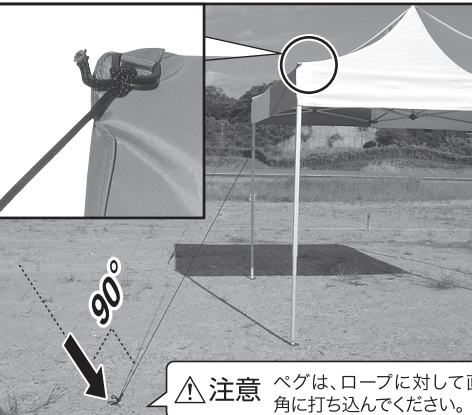
ピークストップの下についているダイヤルを回して、天幕の張り具合を調節します。

注意 テントは、たるみなく「ピン」と張った状態にセットしてください。

ここまで完成した時点で、次の事項を確認し、異常のある場合はテントのご使用を中止してください。また対応につきましては、お求めになった販売店へお問い合わせ下さい。

- 天幕が破れている、フレームが曲がっている等の異常のある箇所はないですか？ ※なお、ボルトが緩んでいる場合は、付属の六角レンチで締め直して下さい。
- 天幕と本体フレームの、マジックテープの貼り付き具合は弱くないですか？
- 天幕はたるみなく「ピン」と張れていますか？雨水が溜まりそうではありませんか？
- 本体フレームの各ストッパーが、きちんと固定されていますか？

テントを固定する



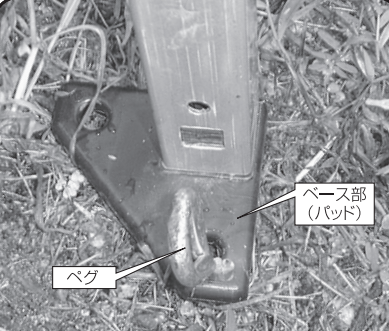
90°

注意 ベグは、ロープに対して直角に打ち込んでください。

天幕の四隅にあるプラスチックの留め具にしっかりとロープを結び、ベグをテントの対角線上にしっかり根元まで打ち込みます。

※四隅以外のアウトターレグには、ベース部の穴へ直接ベグを打ちます。

●ロープを張るスペースがない場合



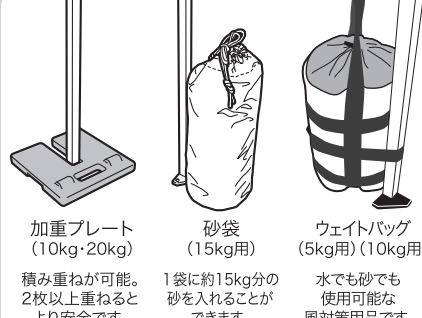
ベース部 (パッド)
ベグ

ロープを張れるだけのスペースが無い場合は、ベース部 (パッド) の穴に、直接ベグをしっかり打ち込みます。

警告 強風などに煽られ、固定したベグやロープ、ウエイトが外れてしまい事故が起る恐れがあります。風対策用のウエイトを併用した場合でも決して過信はせず、悪天候時や天候の悪化が予想される場合、また突風が起る可能性のある時は、テントの使用を中止してください。

●固い地面や風対策に…

地面が固くベグを使用できない場合、またベグとの併用で風対策用に、「加重プレート」「砂袋」「ウォーターウエイト」等の別売オプション品をご利用ください。



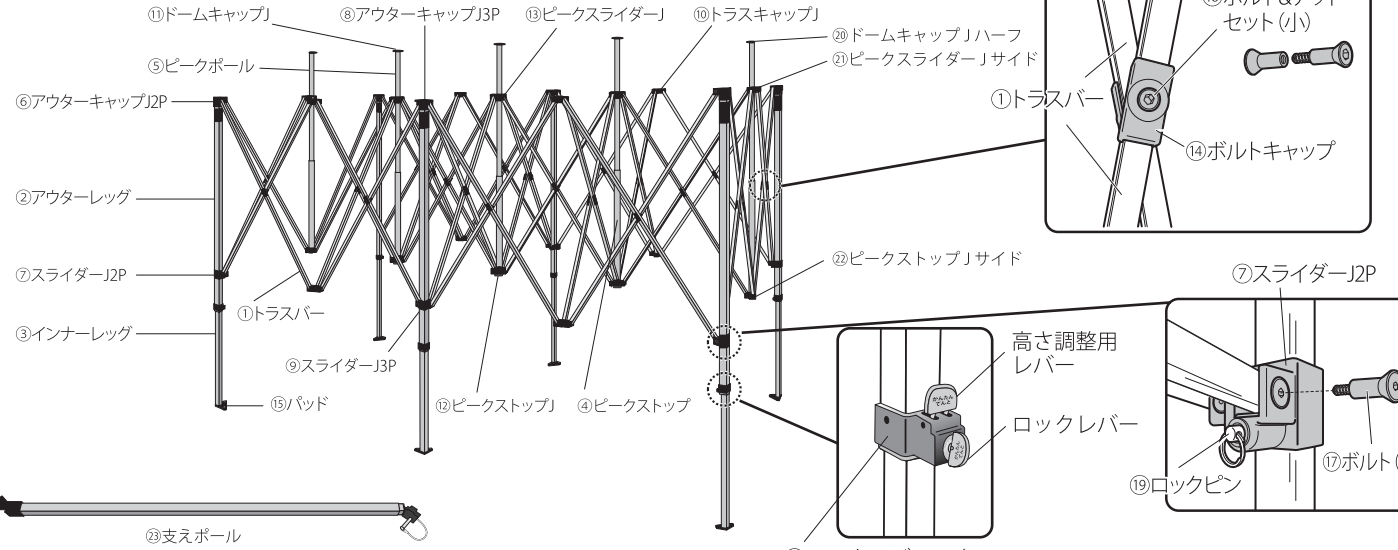
加重プレート (10kg・20kg)
砂袋 (15kg用)
ウェイトバッグ (5kg用) (10kg用)

積み重ねが可能。2枚以上重ねるとより安全です。

1袋に約15kg分の砂を入れることができます。

水でも砂でも使用可能な風対策用品です。

各部の名称



①ドームキャップ
②アウトターレグ
③インナーレグ
④ピークストップ
⑤ピークポール
⑥アウトターキャップJ2P
⑦スライダーJ2P
⑧アウトターキャップJ3P
⑨スライダーJ3P
⑩トラスキャップ
⑪ピークスライダーJ
⑫ピークスライダーJサイド
⑬ピークストップ
⑭ボリットキャップ
⑮パッド
⑯ロックアジャスターJ
⑰ボルト (大)
⑱ロックピン
⑲ロックレバー
⑳高さ調整レバー
㉑トラスバー
㉒ピークストップJサイド
㉓ドームキャップJハーフ
㉔ボリット&ナットセット (小)

※「⑦スライダーJ2P」「⑨スライダーJ3P」はロックピン付です。